

# 平成29年度市政懇話会 地区のテーマと市の考え方

番号	地区	提出者	テーマ内容	市の考え方	担当課
1	生福	地区	<p><b>【地区まちづくり協議会の事務担当者の整備について】</b></p> <p>生福地区まちづくり協議会では、地域活性化のために、かかし祭りや徐福花冠祭、駅伝大会など、各種イベントを開催しています。</p> <p>開催に当たっては、会長・副会長・会計及び各専門部長等の役員が協力して取り組んでいますが、それらに係る事務量は膨大なものとなっています。このような状況の中、役員のなり手がいない原因の一つに事務処理があり、交流センター事務員が事務の補助をするものの、勤務時間（平日5時間）の関係などで、なかなか改善がされません。</p> <p>地区まち協では、少子高齢化社会におけるまちづくりを模索する中、事業活動の見直し、事務処理の在り方などが課題となっています。行政の検討・協力をお願いしたい。</p>	<p>生福地区まちづくり協議会におかれましては、1月2日の駅伝大会に始まり、花冠祭、かかし祭り、夏祭り、生福市、山市物産展、各種スポーツ大会と、趣向を凝らしたイベントのほぼ毎月開催に加え、地区の拠点である生福交流センター、農業研修センターの指定管理業務の適切な運営と施設の有効活用などに努められ、少子高齢化の進む中、地域が一体となった取組みを維持・拡大されておられることは、本市の地域振興・共生協働のお手本であり、市としまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、市が委託している、生福交流センターの指定管理業務の管理人賃金については、午前9時から午後4時まで、週5日間の勤務とし、施設管理とまちづくり協議会の事務補助の業務を行うことを想定して積算しております。</p> <p>従いまして、行事等で通常の事務作業に上乘せする事務が生じる場合は、まちづくり協議会における自主事業の取組として、人件費を捻出して雇用していただきたいと考えております。</p> <p>次にデータの一元化であります。まちづくり協議会のデータや情報については、協議会の専用パソコン等をさらに活用していただき、引き続き事務の効率化を図っていただくと共に、補助金申請等市との手続きについても、インターネット等を活用し、データでのやり取りにより省力化するなど事務の簡素化に努めていただきたいと考えております。</p>	まちづくり防災課

## 平成29年度市政懇話会 地区のテーマと市の考え方

番号	地区	提出者	テーマ内容	市の考え方	担当課
2	生福	地区	<p><b>【平成29年度予算に係る生福地区の事業について】</b></p> <p>先の「議員と語る会」において、平成29年度予算に伴う費目ごとに大枠の説明がありました。しかし、生福地区に係る事業及び予算等の説明は十分ではありませんでした。</p> <p>地区まちづくり協議会として、住民に対し「議員と語る会」への参加を呼び掛けた経緯もあることから、この懇話会において、再度、費目ごとの事業内容及び予算額について、説明をお願いしたい。</p>	<p>平成29年度の本市予算において、市民の皆様のためいろいろな施策を行っておりますが、生福地区限定の事業につきましては、6事業を予定しております。</p> <p>1つめは、昨年の市政懇話会で要望のありました農道畑田1号線の拡幅に係る設計委託であります。(6月1日契約済)</p> <p>2つめは、県の補助制度を活用した大六野地区及び上石野地区の農作物生産を促進するための農道整備に係る設計委託であります。(H29.6月補正)</p> <p>3つめは、西岳2号線改良事業で改良工事(L=190m予定)等であります。(8月頃予定)</p> <p>4つめは、別府上名線(中井原工区)改良事業で改良工事(L=90m予定)等あります。(秋頃予定)</p> <p>5つめは、下石野線改良事業で、用地購入等あります。</p> <p>6つめは、ウッドタウン建設事業で平成9年度から着手してまいりましたが、本年度に2棟2戸建設することにより予定の56戸全て完成となります。</p> <p>以上が平成29年度予算に係る生福地区の事業ではありますが、今後も厳しい財政状況が見込まれておりますので、国や県の補助制度を活用しながら限られた予算の中で地域の課題に対応して参りたいと考えております。</p>	農政課
3	生福	地区	<p><b>【市マイクロバスの貸出について】</b></p> <p>青少年育成事業で、裁判所・NHK等の見学を計画しています。</p> <p>この交通手段として、市マイクロバスの借用をお願いしましたが、市主催行事でないため、貸し出しが出来ないとの回答でした。</p> <p>この制限を撤廃してほしい。</p>	<p>公用車の貸出しについては、市内の団体等が道路・河川等の美化、清掃活動など自主的な公益活動等を行う共生・協働のまちづくりを推進する場合に、市が所有するトラックや広報設備付の庁用車など貸出しているところであります。</p> <p>今回、まちづくり協議会が実施する研修視察に行政バス(市マイクロバス)の貸出しができないかとの事ですが、行政バスについては、行政運営の向上と効率化を図るため運行していることから、市の行政上の用務でなければ使用できないこととしております。</p> <p>また、行政上の用務以外の行政バスの利用は、道路運送法に抵触する恐れがあることなどから、地区行事等への行政バスの貸出しは難しいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、まちづくり協議会において実施される研修の交通手段の確保(バス借上げ)については、今後とも地区まちづくり計画事業補助金のソフト事業の活用をお願いしたいと考えております。</p>	総務課

# 平成29年度市政懇話会 地区のテーマと市の考え方

番号	地区	提出者	テーマ内容	市の考え方	担当課
4	生福	地区	<p><b>【路上駐車による通行の妨げについて】</b></p> <p>パークゴルフ場から中井原方面に上がったところの市道に、路上駐車が頻繁になされているため、他の車両の通行の妨げになっている。 市で指導等できないか。</p>	<p>当該市道の斉連ヶ岡線は沿線に総合体育館、総合運動公園、パークゴルフ場などの体育施設のある路線で、市来地域からの施設利用者など交通量の多い路線であります。</p> <p>路上駐車のことにつきましては、見通しの悪いカーブ付近に駐車されている場合は、交通安全上危険でありますので、警察と連携して、路上駐車をしないよう、指導したいと考えております。</p>	土木課
5	生福	地区	<p><b>【休耕地対策について】</b></p> <p>休耕地の持ち主を確認し、都会から人を呼んで、土日を田舎で過ごし、田畑で農業をするようなことを官民で考えてみてはどうか。</p>	<p>近年、高齢化が進む中、担い手不足とあわせて、休耕地対策は、喫緊の課題であります。</p> <p>休耕地の保全管理につきましては、中山間地域等直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業等を活用して、話し合い活動により共同で管理をしていただいておりますが、その保全会の構成メンバーも高齢化して、なかなか管理が難しくなっている状況であります。</p> <p>その様な中、市では気運が高まった地域で、集落営農組織の話し合いを推進しているところであります。都会から人を呼んで、土日、田舎で過ごしてくれるような仕組みづくりを考えるには、休耕地を耕作できる状態にすること、週末だけでも過ごすことのできる空き家の提供、交流センターや公民館等の施設を活用した、宿泊体験の受入で地域住民と交流を深めることが重要です。</p> <p>また、営農に関しては、農業機械等を利用した農家の方々の協力体制を整えることが大事だと考えております。集落営農組織を作って組織が受け入れても良いと思います。ぜひ、地域で話し合い活動を進めていただき、市も一緒になって取り組んでまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。</p>	土木課